

実施計画事業名		教員住宅管理整備事業		評価対象年度	平成 22 年度			
評価担当部署		教育部 学校教育課		課長(主幹)名	青山 等			
総合計画体系	分野	1	教育・文化					
	政策	2	時代に即した学校教育の推進					
	施策	3	社会の変化に対応した教育環境を整備します					
	関連施策							
現状と課題	<p>教員住宅の維持管理は、設置者である市(教育委員会)の責務であり、適切な管理が行われないと、入居者の安全や生活環境を損なうおそれがある。入居する教員からは、稚内市教員住宅貸付規則に基づき貸付料を徴収している。建築から相当年数が経過し老朽化が進んでおり、今後は民間住宅の活用も含め、教員住宅の確保の手段を検討する必要がある。</p> <p>営繕要望箇所が多く用務員の技術を生かし、原材料や消耗品を購入し直営で整備をすすめている。しかし用務員の定年退職に伴い、直営による維持補修が今後は難しくなる。</p> <p>入居者(教員)が安心して日常生活を送れるような生活環境を確保する</p>							
目的								
5ヶ年展開の	<p>①維持管理…老朽化により修繕要望が多いが、優先順位の検討と効率的な施工を行っていく。</p> <p>②整備…学校の統廃合による職員の減少や民間住宅への住み替え等があるため、必要戸数は確保されているため、これ以上、住宅数を増やす必要はないが、校長住宅等、建替えが必要なものについては、各年で1棟程度、整備(建替え)を行う必要がある。</p>							
成果指標	名称		単位		21年度	22年度	25年度	
	事業達成率		%	目標	50.0	50.0	50.0	
説明	修繕実施箇所 / 修繕要望箇所 × 100			実績	35.7	71.3		
活動指標	名称		単位		21年度	22年度	25年度	
	教員住宅の入居率		%	目標	75.0	75.0	75.0	
	説明	小学校・中学校教員住宅の入居割合		実績	70.0	71.1		
	教員住宅入居戸数		戸	目標	191	182	182	
	説明	教員住宅に住居する教員(世帯として捉える)数 (毎年4/1現在)		実績	182	177		
	教員住宅貸付料収入の額		円	目標	25,508	24,720	24,720	
	説明	小学校・中学校教員住宅の当該年度の貸付料収入(決算額)		実績	24,720	23,673		
教員住宅修繕実施箇所		箇所	目標	100	100	100		
説明	小学校・中学校教員住宅の修繕を実施した箇所		実績	110	114			
事業費の実績		単位	21年度 (決算)	22年度 (評価年度決算見込)	23年度 (予算)	備考		
	直接事業費(A)		千円	25,027	26,788	5,800		
	国庫支出金		千円	9,599	7,992	0		
	道支出金		千円	0	0	0		
	起債		千円	4,900	5,000	0		
	その他		千円	0	0	0		
	一般財源		千円	10,528	13,796	5,800		
	この事業にかかる職員数		人/年	1.18	0.91	0.91		
人件費(B)		千円	8,173	6,180	6,180			
計(A+B)		千円	33,200	32,968	11,980			
状況変化	<p>実施計画当初(平成21年～)からの状況変化</p> <p>閉鎖住宅1棟3戸の解体工事が21年度に単年計上、はまなす教員住宅2棟8戸の下水道切り替え工事が同じく単年度計上のため22年度は減額。教員住宅の火災報知機設置工事で22年度増額。</p>							

【1次評価】

成 果	成果指標の単年度の目標値は達成できたか(単年度の目標値がない場合は、長期的な目標値を達成できそうか予測)
	a a 目標達成 b ほぼ目標どおり c 目標達成できず(目標値と大きな差がある) <cの場合は、なぜかを分析して記入する>
細 事 業 の 構 成 ・ 進 め 方	細事業の改廃や新規細事業の必要性はないか
	a a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
コ ス ト 効 率	各細事業の進め方について、市民との協働、他団体等との役割分担の見直し、環境への配慮など、改善の必要性はないか
	a a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
コ ス ト 効 率	無駄なコストが発生していないか、投入した予算や人員に見合った効果が得られているか
	a a 問題なし b 改善の余地がある <bの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
総 合 評 価	A 概ね問題なし <A~C判定を受けての今後の方針、問題点に対する改善策などを記入する>
	空き住宅のほとんどが老朽化しており、大規模な改修、もしくは建て替えの時期に来ている。 ここ数年は、市街地における教員住宅の建設を中止し、民間住宅の活用を進めている。

【2次評価】

成 果	a	細事業の構成	a	細事業の進め方	a	コスト効率	a
総 合 評 価	A 概ね問題なし <2次評価者の視点からコメントを記入する> 1次評価のとおり取り進めること。						

【内部評価委員会】

意 見	
--------	--